

福岡市病院事業運営審議会 合同専門部会（第1回） 議事録

日 時	平成20年2月1日（金） 午後3時から		
場 所	福岡市役所15階 講堂		
出席者（委員）	医療機能部会	福岡県産婦人科医会福岡ブロック会長 福岡大学副学長 福岡県済生会福岡総合病院救命救急センター長 九州医療センター小児科医長 福岡市医師会理事（救急医療担当） 九州大学大学院医学研究院感染環境医学教授 福岡大学病院総合周産期母子医療センター産科部門	池田委員 瓦林委員 岸川委員 佐藤委員 下村委員 林委員 吉里委員
	経営形態部会	九州医療センター事務部長 九州大学病院看護部長 福岡市医師会副会長 公認会計士	青堀委員 中畑委員 長柄委員 矢野委員
事務局	保健福祉局長，同理事，同市立病院担当部長，同市立病院担当課長，同新病院創設担当課長， こども病院・感染症センター院長，同事務局長，同総務課長 福岡市民病院院長，同事務局長，同総務課長・・・ほか		
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 座長選出 4 部会への検討依頼事項 5 市立病院統合移転事業検証・検討報告等 6 今後の進め方について 7 両病院の概要説明 8 閉会		
配付資料	1 福岡市病院事業運営審議会専門部会設置要綱 2 これまでの検討経緯 3 専門部会への検討依頼事項 4 福岡市及び近郊の主な病院の立地状況 5 公立病院改革ガイドラインのポイント 6 公立病院改革ガイドライン 7 各専門部会の今後の進め方について 8 福岡市情報公開条例（抜粋） 9 こども病院・感染症センターの概要 10 福岡市民病院の概要		

○開会

○保健福祉局長あいさつ

○部会委員紹介

○座長選出

- ・医療機能部会については瓦林委員（座長代理は林委員）、経営形態部会については尾形委員（座長代理は長柄委員）が選出された。

○「これまでの検討経緯」、「部会への検討依頼事項」について事務局から説明

○「検証・検討結果報告」、「公立病院改革ガイドライン」について事務局から説明

（委員）

こども病院が開設されるまでは、2次・3次の救急機能は国立福岡病院と浜の町病院が担ってきた。こども病院の改革とともに、市民全体への小児医療供給の観点から議論をしてもらいたい。東部に九大とこども病院の2つの3次救急機能ができることになるため、九大の小児医療センターから委員またはアドバイザーを出すことが必要ではないか。

（座長）

アドバイザーなど必要であれば検討するが、部会のメンバーは一応ニュートラルなメンバーであり、ひとまずこのメンバーで議論を進めていきたい。

（委員）

議論に時間がかかることのデメリットは大きい。
審議会では、部会の意見をうけて速やかに結論を出されるという前提で議論したい。

（座長）

部会できちんと同意がとれればゴーサインが出るような形にしないといつまでたっても進まないだろう。そういう観点からの意見をお願いしたい。

（委員）

成人機能を付加した方が収益が悪化するとの分析だが、一般的には2.5次では成人機能がある方が収益が上がるのではないか。
違う結論が出る可能性がある。
58ページのグラフは、右端にもう一つ山ができるのではないか。

（事務局）

審議会に諮問した「市立病院のあり方」について医療機能部会では、収益性ではなく、医療機能のあり方に限定して検討をお願いしたい。

（座長）

収益の問題については、経営形態部会で議論するのか。

（事務局）

経営形態部会では、市立病院が選択すべき経営形態の検討を行っていただくこととしている。

(委員)

こども病院に周産期センターをつくるのであれば、ベッド数や正常分娩を扱うのか紹介に限るのか、それによっては東地区の開業医の理解が必要ではないか。

よく「たらい回し」が問題とされるが、初見の妊婦を急に見るのは難しい。

それまでの診察がなく、急に飛び込んでくる人には、経済的な問題を抱えている人も多く、支払いの能力や意思がない人もいる。

公的な病院で低所得者を引き受ける態勢づくりが必要ではないか。

(座長)

いままでのいくつも出されている報告書をきちっと検証して進めていけるような報告ができればいいと思う。

後ほど両病院の概要説明も予定されており、それらを踏まえて議論していきたい。

○「今後の進め方」について事務局から説明

(座長)

第2回以降の部会では、色々としのデータの話も出てくるため、部会の公開・非公開について決定しておく必要がある。

情報公開条例第7条第2号及び第4号に該当するものとして非公開としてよいか。(委員からの異議なし)

議事録は公開する予定なのか。

(事務局)

議事要旨として公表したい。

(座長)

部会は非公開とし、ホームページ等に議事要録を公開することで対応することでよいか。(委員からの異議なし)

審議会委員については、オブザーバーで参加する。

部会では、現場の声を聞くことも必要であり、両病院長その他必要な人には出席をお願いすることとしたい。

○「こども病院・感染症センターの概要」、「福岡市民病院の概要」について両病院長から説明

(委員)

両病院は統合しない方向で議論していくのか。

(座長)

そうである。

○議事終了 閉会